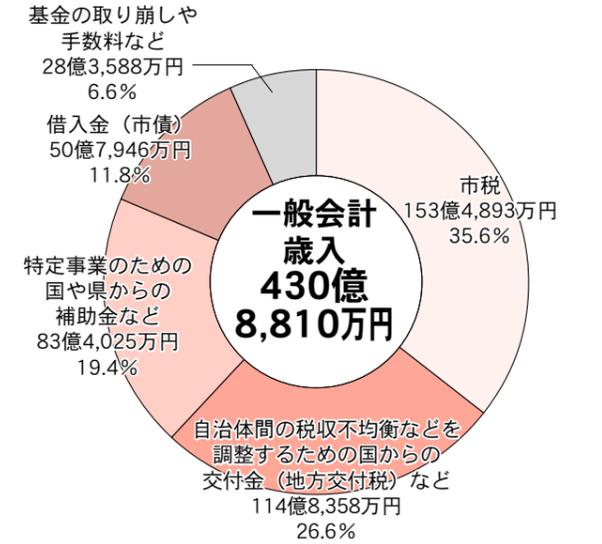
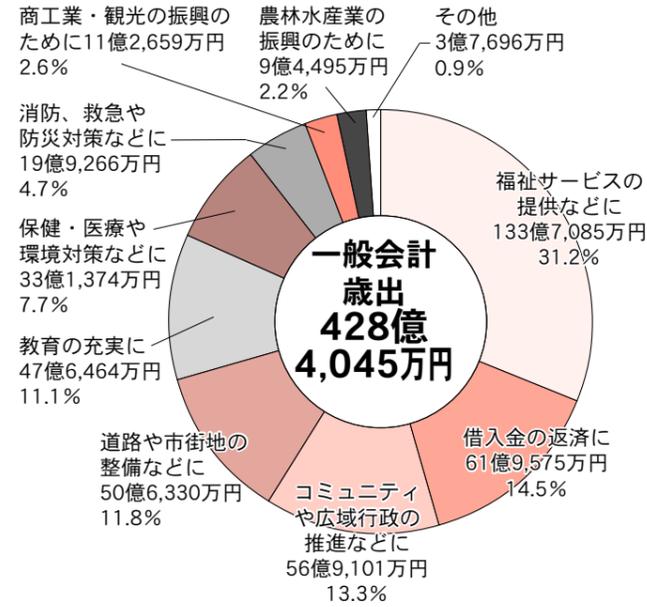


平成25年度 決算報告

問合せ 財政課 ☎9126

市の財政状況



平成25年度決算に基づく健全化判断比率などの報告

平成25年度決算に基づく健全化判断比率 (単位：%)

区分	法適用企業		法非適用企業					
	宅地造成事業以外	宅地造成事業	水道事業	国民宿舎事業	公共下水道事業	簡易水道事業	農業集落排水事業	包ヶ浦観光事業
資金不足比率	-	-	-	-	-	-	-	-
(経営健全化基準)	(20.0) ※公営企業ごと							

注 資金不足額がない場合は、「-」を記載しています
※資金不足比率：公営企業ごとの資金不足額の比率

財政状況を明らかにし、必要な場合は早期改善を促すため、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体は財政の健全化に関する比率を公表しています。

比率のいずれかが基準以上となった団体は、財政健全化計画や財政再生計画の策定が義務付けられています。廿日市市は、いずれの比率も基準を下回っています。

平成25年度決算に基づく健全化判断比率 (単位：%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	-	-	10.0	64.1
(早期健全化基準)	(11.93)	(16.93)	(25.0)	(350.0)
(財政再生基準)	(20.00)	(30.00)	(35.0)	

注 実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合は、「-」を記載しています
※実質赤字比率：一般会計等（一般会計や廿日市駅北土地区画整理事業特別会計などの8つの会計）の実質赤字の比率
※連結実質赤字比率：全ての会計の実質赤字の比率
※実質公債費比率：公債費等の比重を示す比率
※将来負担比率：地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率

平成26年度上半期の各会計執行状況

会計名	(平成26年9月30日現在 単位：万円)					
	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	収入率 (C/A)	支出済額 (D)	執行率 (D/A)
一般会計	446億1,684	302億9,444	199億8,205	66.0%	162億4,809	34.9%
国民健康保険	127億4,606	106億9,917	44億8,777	41.9%	52億9,082	41.5%
介護保険(保険事業勘定)	87億6,541	71億8,061	32億4,896	45.2%	34億9,314	39.9%
介護保険(介護サービス事業勘定)	6,491	2,441	2,441	100.0%	2,490	38.4%
後期高齢者医療	13億6,905	10億7,784	4億3,848	40.7%	5億6,023	40.9%
漁港管理	2,269	2,729	2,092	76.7%	308	13.6%
公共下水道事業	49億7,721	5億2,410	3億878	58.9%	17億1,345	34.4%
小規模下水道事業	2億2,769	9,249	5,421	58.6%	4,980	21.9%
墓地管理事業	3,631	2,324	2,324	100.0%	65	1.8%
簡易水道事業	6億5,464	1億5,662	8,236	52.6%	2億1,397	32.7%
農業集落排水事業	3,333	370	177	47.8%	1,131	33.9%
港湾管理事業	2,783	2,214	1,745	78.8%	1,064	38.2%
包ヶ浦観光事業	4,705	2,512	2,424	96.5%	2,616	55.6%
市営住宅事業	3億4,237	3億3,293	1億3,491	40.5%	8,745	25.5%
宮島水族館事業	9億2,632	3億9,522	3億8,140	96.5%	3億7,744	40.7%
廿日市駅北土地区画整理事業	3億6,678	202	202	100.0%	7,472	20.4%

※調定額とは、内容を調査して収入すべき金額を決定した額をいいます

平成25年度国民宿舎事業決算

問合せ 観光課 ☎9142

平成25年度の業務状況は、宿泊1万5,662人、休憩利用者4,553人、レストラン利用者7,561人、入浴利用者3,119人で、利用者合計は3万895人でした。

平成25年度バランスシート

(平成26年3月31日現在 単位：万円)			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	7億2,306	流動負債	262
有形固定資産	7億2,306	未払金	212
		預り金	50
流動資産	6億2,772	負債合計	262
現金・預金	6億2,756	(資本の部)	
未収金	16	資本金	21億6,621
貯蔵品	0	自己資本	21億6,621
		剰余金	△8億1,805
		資本剰余金	25
		欠損金	8億1,830
		(当年度純損失)	(1,286)
		資本合計	13億4,816
資産合計	13億5,078	負債・資本合計	13億5,078
		※有形固定資産の減価償却累計額	10億7,420万円

平成26年度上半期執行状況

(平成26年9月30日現在 単位：万円・%)			
科目	予算額(A)	執行額(B)	執行率(B/A)
収益的収入	5,232	1,837	35.1
収益的支出	3,777	221	5.9
資本的収入	0	0	-
資本的支出	281	0	0

平成25年度水道事業決算

問合せ 水道局 業務課 ☎5295

平成25年度の主な取り組みとして、石綿管などの老朽化した管路の更新を行うとともに、大野地域の浄水場の統合にかかる送配水管の整備などを行いました。

平成25年度バランスシート

(平成26年3月31日現在 単位：万円)			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	146億9,475	固定負債	1億1,316
有形固定資産	146億9,430	引当金	1億1,316
無形固定資産	45	流動負債	5億2,330
流動資産	39億158	未払金	3億3,160
現金・預金	36億6,594	前受金	397
未収金	1億4,424	預り金	1億8,773
貯蔵品	1,658	負債合計	6億3,646
前払金	7,392	(資本の部)	
その他流動資産	90	資本金	24億8,424
		自己資本	24億8,424
		剰余金	154億7,563
		資本剰余金	141億7,921
		利益剰余金	12億9,642
		(当年度純利益)	(8,762)
		資本合計	179億5,987
資産合計	185億9,633	負債・資本合計	185億9,633
		※有形固定資産の減価償却累計額	79億8,226万円

平成26年度上半期執行状況

(平成26年9月30日現在 単位：万円・%)			
科目	予算額(A)	執行額(B)	執行率(B/A)
収益的収入	27億3,811	12億8,905	47.1
収益的支出	24億9,230	9億9,123	39.8
資本的収入	6億1,263	560	0.9
資本的支出	13億4,189	8億5,301	63.6

平成25年度会計別の決算状況

会計名	(単位：万円)	
	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	430億8,810	428億4,045
国民健康保険	125億6,854	125億3,779
介護保険	81億8,456	81億4,717
後期高齢者医療	13億970	13億716
漁港管理	2,518	1,411
公共下水道事業	47億6,850	47億6,777
小規模下水道事業	1億8,896	1億8,896
墓地管理事業	2,626	2,626
簡易水道事業	8億5,306	8億5,306
農業集落排水事業	2,994	2,994
港湾管理事業	3,453	2,663
包ヶ浦観光事業	4,751	4,751
市営住宅事業	5億9,527	5億3,791
宮島水族館事業	9億7,823	9億2,324
廿日市駅北土地区画整理事業	4億3,359	4億3,158

平成25年度末市債現在高の状況

会計名	(単位：万円)	
	平成24年度末現在高	平成25年度末現在高
一般会計	525億6,378	521億8,963
公共下水道事業	230億9,919	230億8,524
簡易水道事業	35億7,067	36億9,401
農業集落排水事業	2億6,113	2億5,077
市営住宅事業	5億4,262	6億2,877
宮島水族館事業	34億5,627	30億7,224
廿日市駅北土地区画整理事業	7億7,470	9億8,650
合計	842億6,836	839億716

平成25年度末市有財産の状況

土地	8,593万7,927平方メートル
建物	51万7,989平方メートル
有価証券	6,100万円
基金	131億7,205万円

市民1人あたりに換算すると



※平成26年4月1日現在の人口117,182人、49,539世帯で計算しています

平成25年度決算の概要

平成25年度は、第5次廿日市市総合計画に掲げる都市像の実現を目指し、「住み続けたいまち」、「活力のあるまち」に力点を置き、「環境」、「子育て」、「観光・交流」を基本的視点とし、将来にわたって持続可能な財政構造の確立を図るとともに、自立・発展するまちづくりに戦略的に取り組みました。

一般会計

平成25年度一般会計の決算額は、歳入が430億8,810万円、歳出が428億4,045万円、歳入決算額から歳出決算額を差し引くと2億4,765万円となりますが、このうち、平成26年度に繰り越した事業に充てる財源4,925万円を除いた1億9,840万円が実質的な黒字額となります。

※歳入・歳出の内訳は円グラフをご覧ください